

～ はじめに ～

5G（第5世代移動通信システム）やAI、IoTといった技術革新が進む中、私たちの生活や価値観、働き方が大きく変わろうとしています。

その社会の変化に伴い、子育て世代の意識や求めるサービスは、ますます多様化しています。国立社会保障・人口問題研究所が、平成30年7月に実施した「第6回全国家庭動向調査」によると、既婚女性が子どもの世話を頼む相手として、「公共機関」が初めて「親」を上回ったとも聞き及んでおります。

同じような傾向は、本計画の策定にあたり当市で実施したアンケート結果でも表れており、今後も保育や放課後対策などの子育て支援サービス充実への期待が予想されます。

子ども・子育て支援新制度が始まって5年が経過し、女性の就業率も7割を超え、また、令和元年10月には幼児教育・保育の無償化も始まるなど、子どもと子育てを取り巻く環境は新たなステージを迎えようとしています。こういった動向や第1期の計画の成果を踏まえつつ、このたび令和2年度から5年間にわたる「第2期一宮市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

今後はこの計画に基づき、これまで以上に安心して子育てのできる、子育てしやすいまちをめざしていくために、市民の皆さまを始め、学校や地域、各種事業者などの関係者とも連携しつつ、計画に掲げた施策を着実に取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、子ども・子育て会議で熱心にご審議いただきました委員の皆さまをはじめ、アンケートなどにご協力いただきました市民の皆さま、関係各位に対しまして、心からお礼申し上げます。

令和2年3月



一宮市長 中野 正康